

# 人権だより (第3号)

平成30年1月30日  
人権教育委員会

人権とは、「誰もが生まれながらにもっている自分らしく幸せに生きる権利」のことです。何気なく過ごしている日常の中にも、人権という視点から見るとさまざまな問題があります。自分のイライラを他人にぶついたり、相手の気持ちを考えずに話をしたりしていませんか。

人権教育委員会では、皆さんに「自分を認め、他人を認め、お互いを尊重できる人」になってほしいと思っています。1月19日（金）、第2回人権教育LHRを行いました。各学年の様子をお伝えします。

## <4A> 「背景を想像しよう ～差別・偏見をなくすために～」

内容：日常の様々な場面を切り取り、いろいろな人が抱える悩みや不安、そこに至る経緯について考えました。

e x) 単純性血管腫の方、席を譲らない少女 etc…

この先いろいろな人に出会うと思うけれど、見た目だけでなく、話してみなくちゃ分からないので、話してその人と良い関係を気づいていけたらなと思いました。

その人のことを一瞬で判断するんじゃなくて、ちゃんとその人について知っていこうと思います。



## <2A、2C> 「高齢者の理解」

内容：高齢者にはどのような苦労があるのかを考え、それに対してみんなが出来る事を考えました。また、高齢者が体操でつかう、ナンバーボードを作りました。



ナンバーボード作り。色を塗るの大変だったけど、高齢者の方に喜んでもらえるように丁寧に塗りました。



高齢者の方と関わる機会が少なからずあるから、自分が出来る事をする事、思いやりの気持ちを持つことを普段から意識しようと思いました。



作ったナンバーボードを高齢者施設へ持って行きました。気に入って使ってくれと嬉しいです。

### <3A> 「発達障がい」について理解しよう。

内容：一見分かりづらい障害「発達障がい」についてのビデオを見て、すべての人が尊重される豊かな社会の実現について考えるきっかけを持った。



**Q. 発達障がいを抱える主人公が言った「やっぱり僕は、他の人とは違うのだろうか。」の言葉を主人公の気持ちになって考えよう。**

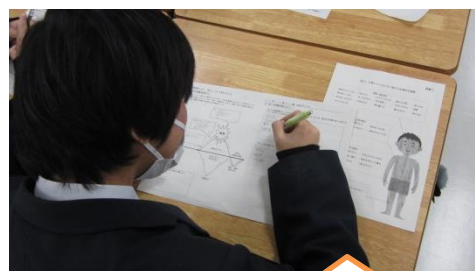
- A. 焦っている。 A. 「何で僕だけ…」って思っていたと思う。
- A. ほかの人とは違うってすごく不安になると思う。なんで自分はみんなと違うのかなって気持ちになる。
- A. 知識がなく、自分のことがあまり理解できていないことで違和感とか生きづらさがずっとあったんだと思った。
- A. さみしい。どうして自分は…。 A. 不安な気持ち
- A. ものすごく周囲の目を気にしすぎてどうしたらよいかわからない状態だったのではないのか。情緒不安定なんだと思う。

**Q. 「発達障がいは、理解と支援を必要とする個性としてとらえていただきたい。」という講師の言葉について考えよう。**

- A. 発達障がいをもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。
- A. 周りに理解してもらおう事が大切。
- A. 他の人が気づいてちゃんと理解してあげること、そして、支援をしてあげることが大切だと思う。
- A. 誰もがすべて同じではないと思いました。
- A. ダメな人なんていない。どんなに優れている人でもできない人でも同じ人間なんだ。とにかく、みんなそれぞれ違う個性・性格を尊重してほしい。

### <1A・1C> 「アンガーマネジメント」

内容：「怒り」を感じたときの体の変化について考え、怒りの感情のコントロールの方法を考えました。



自分の「怒り」の仕組みについて考えています。

この授業を通して初めて知った対処法もあったし、これからの日常生活にいかそうと思った。

